

'10.11.11

吸収性高めたクルクミン
セリユー^ラ機能性など研究成果を発表
(株)セラビューズ(東)吸収率を向上させた同社
京都千代田区)は1日、独自のクルクミン素材

「セラクルミン」の機能性研究成果をメディア向けに発表した。セラクルミンはクルクミン粒子を細分化するとともに安定性を高めることで、吸収性を大幅に改善させることに成功した素材。ヒトを対象にした吸収試験で

は、クルクミン原本に対し血中濃度が約27倍上昇したとの結果もある。同社は原料開発のほか、消費者向け製品の開発にも対応する。

この日の発表は、クルクミン研究の世界的権威であるテキサス州立大学M・D・アンダーソンがんセンター教授のバラッド・アガワル氏が、クルクミンが持つ抗炎症作用や、がんや心臓病、生活習慣病に対する有用性について解説。秋田大学大学院教授の柴田浩行氏は、クルクミンが複数の標的分子を制御し、新たな抗腫瘍性化合物としてのポテンシャルを有していると報告したほか、京都大学の金井雅史氏は、日本人の膀胱がん患者を対象に、クルクミン1日8gの高容量継続摂取で安全性を確認し、現在、セラクルミンを用いた新たな臨床試験を計画中であることを明かした。